

平成30年度 第3回かすみがうら市地域公共交通会議 会議録

1 日 時 平成30年12月21日(金) 10時30分から11時00分

2 場 所 かすみがうら市役所 千代田庁舎2階 第1会議室

3 次 第

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 議事

報告第2号 霞ヶ浦広域バス及びデマンド型乗合タクシーの運行状況について

議案第4号 新規バス路線の運行(案)について

(4) その他

(5) 閉会

4 出席者

団体名	役職名	氏名	代理・随 行
かすみがうら市	市長(会長)	坪井 透	
関東運輸局茨城運輸支局	首席運輸企画専門官	皆川 誠司	代理：高見 耕平
茨城県政策企画部交通局交通政策課	課長	久保田 博文	代理：島田 敏次
茨城県土浦土木事務所	道路整備第二課長	綿引 裕治	
茨城県土浦警察署	交通課長	菊池 和行	代理：坪井 裕幸
関東グリーンバス(株)	代表取締役	長津 博樹	随 行：大塚 達也
関東観光バス(株)	常務取締役	小林 英樹	代理：廣瀬 貢司
(有)千代田タクシー	代表取締役	染谷 雄一郎	
(有)美並タクシー	代表取締役	臼井 忠	代理：臼井 幸子
(有)鶴観光バス	代表取締役	鶴町 乙比古	
霞ヶ浦交通(株)	代表取締役	島田 豊	
(一社)茨城県バス協会	専務理事	澤島 政志	
関東鉄道労働組合	書記長	中村 正之	代理：池田 正人
かすみがうら市議会	議長	中根 光男	
かすみがうら市区長会	会長	額田 源衛	
かすみがうら市老人クラブ連合会	会長	藤井 藤吉	
かすみがうら市PTA連絡協議会	会長	鈴木 淳	
地域女性団体連絡会	会長	斉藤 二三子	
土浦市	都市産業部長	塚本 隆行	代理：佐々木 啓
行方市	企画部長	大久保 雅司	随 行：成瀧 正蔵
かすみがうら市	市長公室長	木村 義雄	
かすみがうら市	総務部長	小松塚 隆雄	
かすみがうら市	保健福祉部長	寺田 茂孝	
かすみがうら市	建設部長	石塚 洋二	
かすみがうら市	教育部長	辻 和徳	
事務局	政策経営課長	槌田 浩幸	
	課長補佐	神野 厚	
	係長	岡崎 祐介	
	主幹	川俣 公則	

5 欠席者

団体名	役職名	氏名
関東運輸局茨城運輸支局	首席運輸企画専門官	富澤 雄一
(有) 神立観光	代表取締役	斉藤 日出夫
(有) まゆ観光	代表取締役	大橋 孝一
(一社) 茨城県ハイヤー・タクシー協会	専務理事	鬼澤 秀通
かすみがうら市商工会	会長	真藤 実男

6 議事内容

報告第2号 霞ヶ浦広域バス及びデマンド型乗合タクシーの運行状況について

議案第4号 新規バス路線の運行(案)について

【議長】	報告第2号「霞ヶ浦広域バス及びデマンド型乗合タクシーの運行状況について」を議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。
【事務局】	—資料に基づき説明—
【議長】	以上で、説明が終わりました。 ただいまの件につきまして、ご質問等はありませんか。
(質問等なし)	
【議長】	次に議案第4号「新規バス路線の運行(案)について」を議題といたします。 事務局から説明をお願いいたします。
【事務局】	—資料に基づき説明—
【議長】	以上で、説明が終わりました。 ただいまの件につきまして、ご質問等はありませんか。
【茨城県】	新規バス路線の利用人数は、何人程度を見込んでいますか。
【事務局】	神立地区、下稲吉地区の路線沿線人口を10,205人、利用率を0.7%と考えております。1日の利用人数としては71名を想定しております。
【茨城県】	利用される方はどういった方を考えていますか
【事務局】	バス停周辺に住まわれている方はもちろんですが、神立駅を利用される方、神立病院、ショッピングモールの利用者を考えております。また眼科、内科等の利用者、さらには土浦協同病院への利用者を想定しています。
【茨城県】	霞ヶ浦広域バスでもそうだが、通勤通学等で利用してもらうことで利用者増につながる。なるべく通勤・通学者を取り込めるようにしてはどうでしょうか。
【事務局】	検討します。
【議長】	それでは、その他ご質問等はありませんか。
(質問等なし)	
【議長】	それではこれより、議案第4号を採決いたします。議案第4号について、原案のとおり可決することにご意義ありませんか。
(異議なしの声)	
【議長】	異議なしと認め、議案第4号は原案のとおり可決されました。

その他

【議長】	次にその他でございますが、事務局から報告がございます。 かすみがうら市地域公共交通再編実施計画に基づく事業計画の今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いいたします。
【事務局】	事業計画の今後のスケジュールにつきまして、ご説明いたします。 平成31年1月下旬までに、千代田神立ラインの運行事業者の決定に向け、準備を進めてまいります。利便性の高い交通環境を実現するため、鉄道や既存バス路線と連動したバス時刻表を調整していくとともに、主要な交通結節点での待合環境の充実をはじめ、路線図や乗り継ぎ情報など、利用者にはわかりやすい情報を提供し、利用者の利便性向上を目指してまいります。

	<p>また、デマンド型乗合タクシーの見直しについて、自動車運転免許証を持たない60歳以上の方を対象に、タクシー料金の一部を助成する事業実施に向け、準備を進めているところでございます。本事業につきましては、平成31年10月からの実施に向け、運用方法などをご相談させていただきたいと考えております。タクシー事業者のご理解とご協力をお願いいたします。</p> <p>最後に、千代田神立ラインにおける事業計画のほか、運賃などをご協議いただくため、本交通会議を2月中旬に開催を予定しております。詳細が決まり次第、各委員に追ってご連絡いたします。</p>
【議長】	<p>以上で、説明が終わりました。</p> <p>ただいまの件につきまして、質疑等はございませんか。</p>
【中根委員】	<p>31年度末をもって乗合タクシーは廃止の方向で進めているが、タクシー助成券事業については、どのように進めていきますか。</p> <p>また農村地域においては、一人暮らしの高齢者で免許証を返納した方など交通弱者が増加している。こういった交通弱者に対する交通サービスとして、今後NPO法人の立ち上げ、さらにはNPOに対する補助なども考えられる。乗合タクシー並みの料金で自宅まで送迎し最寄りのバス停までいくようなサービス事業など、乗合いタクシーからスムーズに移行できるような施策については、どのように考えていますか。</p>
【事務局】	<p>はじめに、タクシー助成券については、月6枚程度を目安として12か月、1枚につき500円程度の助成を予定しており、金額にして1人36,000円程度を考えております。事業の詳細については、今後の交通会議において委員の皆様にお諮りさせていただきます。</p> <p>交通弱者の問題については、乗合タクシーの廃止に伴い、交通空白地域での有償運送事業が可能となることから、NPOや一般社団法人などの先進事例をもとに事業の研究をしてまいります。料金等についても来年度委員の皆様にご提示させていただきます。</p>
【中根委員】	<p>乗合タクシーの廃止までに、スムーズに移行できるような、市民に不自由させない施策を要望とさせていただきます。</p>
【事務局】	<p>ありがとうございます。</p>
【議長】	<p>それでは、その他ご質問等はございませんか。</p>
(質問等なし)	
【議長】	<p>それでは、特にないようでしたら、これで平成30年度第3回かすみがうら市地域公共交通会議を閉会させていただきます。委員の皆様におかれましては、慎重なるご審議を賜り、誠にありがとうございました。</p>

【以 上】